滝門 辨 87 ノ 7

笠亭仙果錄
歌川國綱画

十編下

十編上

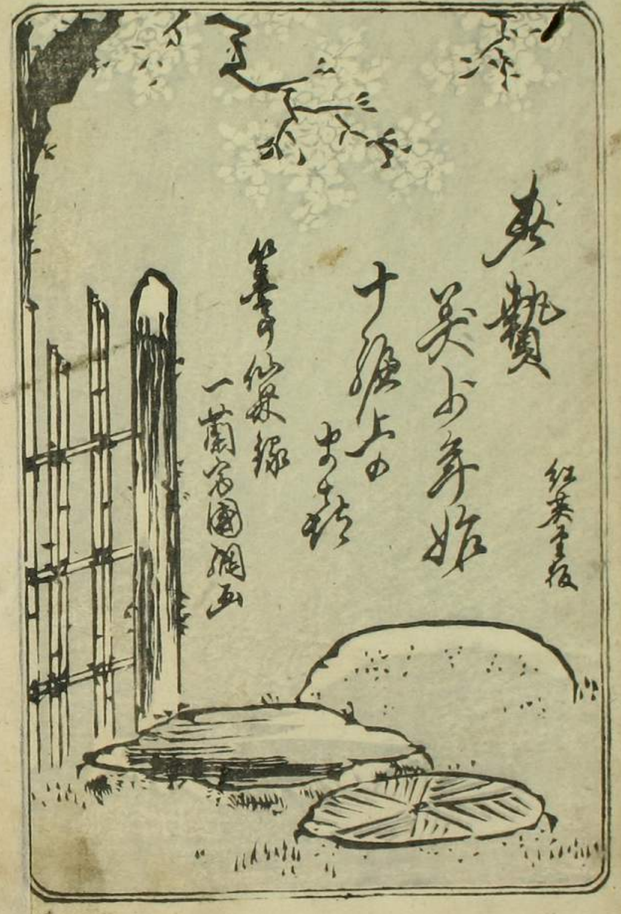
神書佛書醫書國學
繪本草本新書貴賤
寺遊ひ尋く洛東の間
門訪ふ人ハ後前三條橋西へ
河内屋源六衛

987
19

帝國圖書館藏書
明治廿七年二月十日購求

帝國圖書館藏書
門號 ヲ87
號外 1/3

神書佛書賢書國學
繪本年中新書讀本
手遊いろく淨るり
門辻文ルよみ本
後編三体揃帙入
河内屋藤次衛



故十返舎一九が就木迯遊〳〵人なりて。機婦上戸の愛形くもの。滿洒なる美少年の頃まへ。飯を暗める主の緒柳命と契る手弱女の數十八人を及び〳〵そ。此面白く世を經し代の末或そろそろ今戸の土と化るを甚悲しと焼物の朝吉娘も淚を落せり。仙果が此人と幷二の朋友ありそうれど石下戸の生野夫あそ厭ひあくねど御緣が薄く面白いめをえさる事。其が藥欲ケ年兄さ早一九より三歳生延共作の嗣録をるも。長壽和る赤面申春あり犬の草紙と押並く発市〳。

芸中橋の鳶吉例缺ていさと主人のこれを面白き抄錄物の序をよことゐ〳〵つ女の續綴を非三平二波本木を傳る赤木をあけまど櫻の後の午裏と共に硯ひやそ馬一匹と故人の高セ墨田の水の下流を汲ぐ俤多川の年代ものなるき

甲寅孟春

笠亭仙果

打出

中髪

有験觀音堂

中髪丁児

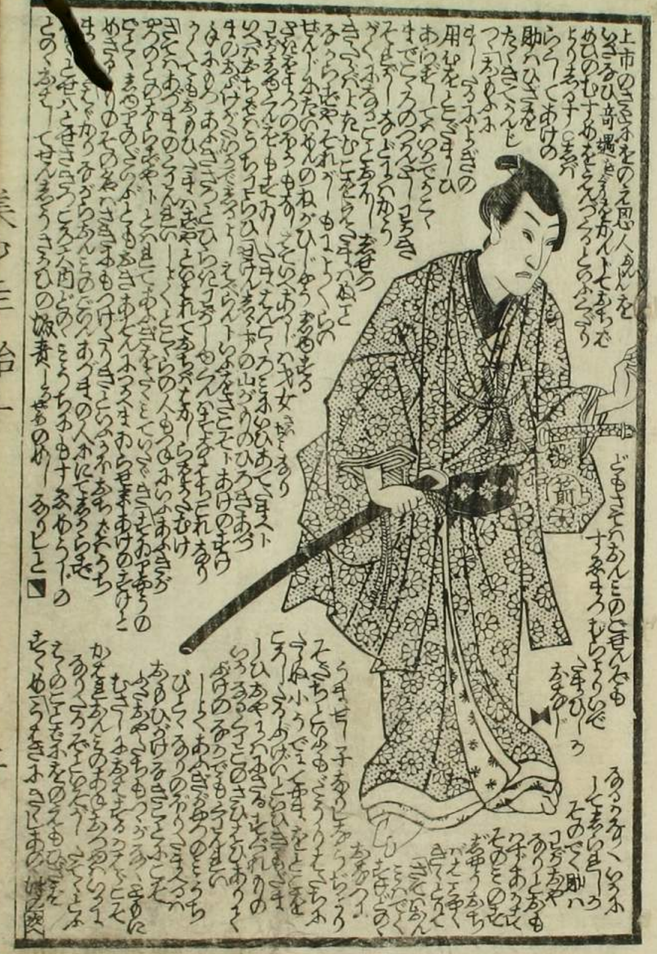
中髪

福富長者大夫次

富翁賊道人を騙す事

十編日高景市の物語

本編九ノ九帙ハ原書ノ第廿一回ヨリ
ノ廿二回ヲ訳ス



美少年治助

国貞画
豊年
小夏
あつめ

あき家
上市のなのそ

朱
芥

朱
苗

坂東秀三 傳一流 初編

芳川春濤校閲
岡本起泉編輯
揚洲周延圖畫

島鮮堂
壽梓

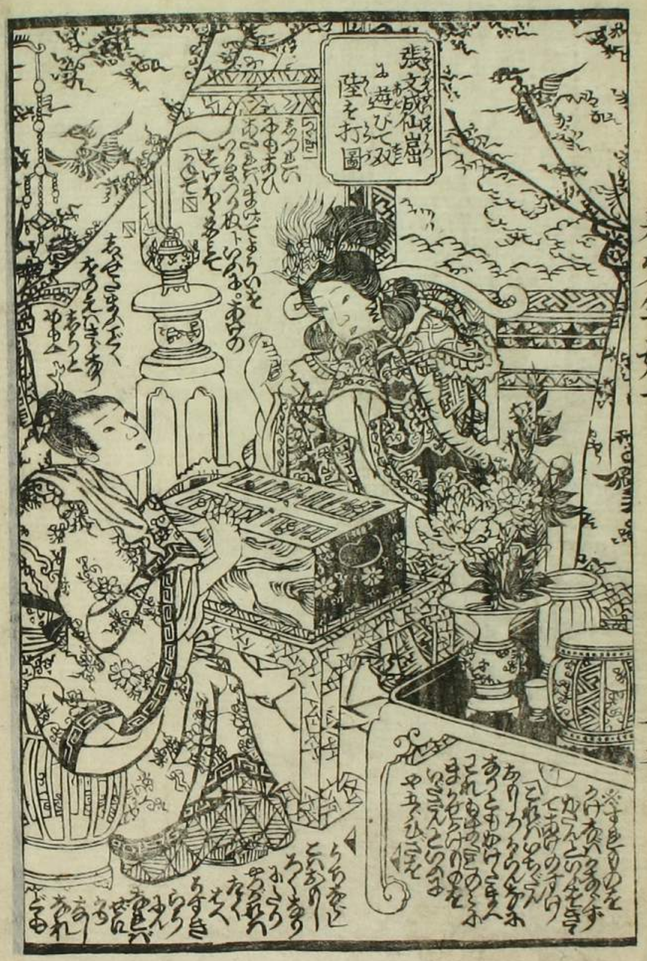
淺草區瓦町十二番地
綱島龜吉 板

遠
987
20

遠
787
20

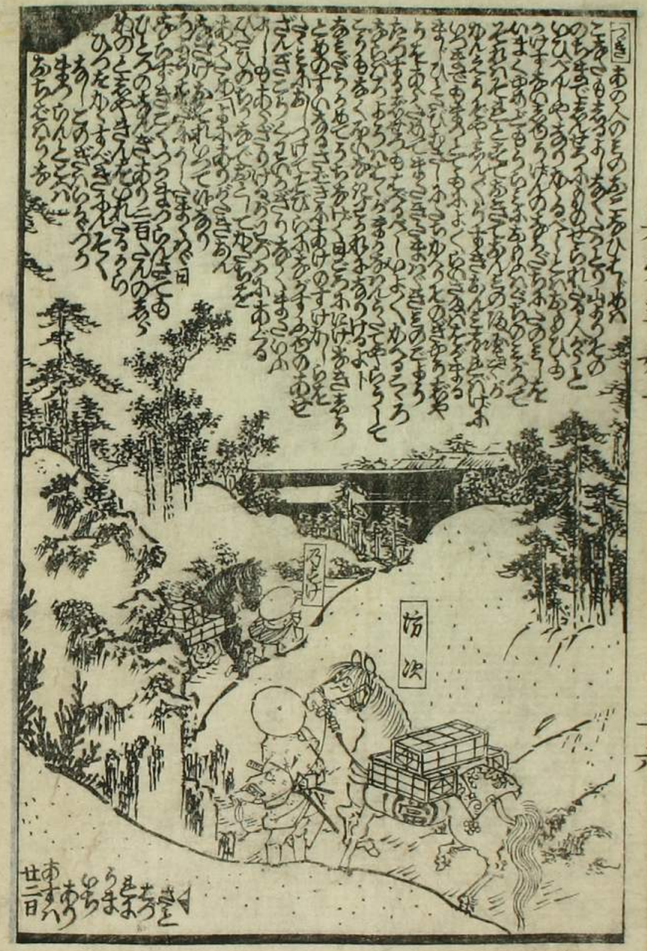
神書佛書醫書國學書
給不平和新古實貨
幸雖安くし淨玩
河岡屋孫兵衛

処喜帝
玉杯を賜て
覚運と
共ゝうた



坊
母

落
朱
芬


坊次

朱
七弗

仕
坊

朱

前

霜夜鐘十字辻筮第二號

編集　文来
画工　芳幸

梓元錦壽堂

仙果録　國綱画